

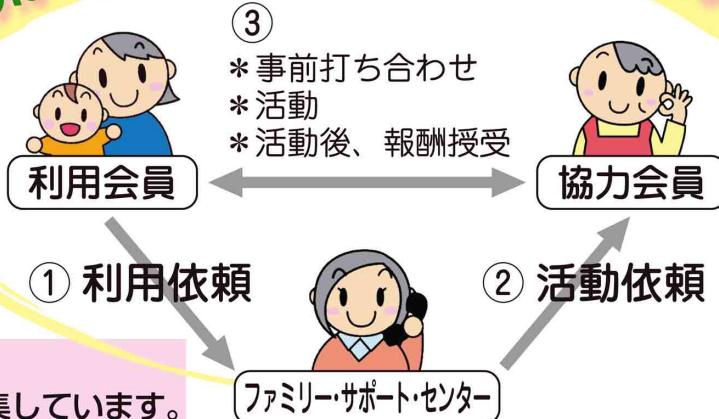
ファミリー・サポート・センター会員募集中～

- 保育施設までの送り迎えをします。
またその後、子どもを預かります。
- 軽度の病気、学校・保育施設の休日、
その他の事由がある場合に子どもを
預かります。

対象児童
生後6ヶ月～小学校6年生

援助時間
AM7:00～PM8:00
事情により前後1時間延長可

いちばらファミリー・サポート・センターのしくみ



協力会員募集中!!

ファミサポの活動に協力いただける方を募集しています。

料金等詳細についてはお問合せください 市原市社会福祉協議会 ☎0436-24-0011

お知らせ

東京都千葉福祉園 お花見会

日 時：4月7日(日) 10時～14時(雨天決行)
場 所：袖ヶ浦市代宿8
総合訓練センター及び桜並木周辺
催し物：生産品販売・フリーマーケット、音楽、踊り、模
擬店など。ぜひ、名物の桜並木をご鑑賞下さい。
その他：駐車場につきましては、係員の指示・誘導に
従って下さい。
問合先：生活第二課 児童生活係 田村・門百(かども)
☎0438-62-5367

「ニコニコキッズ」開催

親子で自由に参加できる遊びの広場です。
当日直接会場へ遊びにきて下さい。
日 時：3月18日(月) 10時～12時
会 場：アネッサ体育室
対 象：市内在住の未就学児
参加費：無料
問合先：アネッサ ☎62-8601

折り紙教室

～小物入れ作り～

広告紙などを利用し、重ね箱の
小物入れを作ります。
日 程：4月11日(木)・4月18日(木) 全2回
時 間：9時半～11時半
対 象：市内在住の60歳以上の方
参加費：無料
申込方法：3月15日午前8時30分より
電話または窓口にて受付
定 員：先着15名
問合先：アネッサ ☎62-8601



案内板

ご利用下さい福祉カー

社協では、障がい者や高齢者の方々が、
気軽に外出し、社会参加できるように、
福祉カー“ゆうあい市原号”(リフト付
ワゴン車)を無料(燃料自己負担)で貸
出しています。 ☎24-0011

あたたかい善意をありがとう

平成24年度
歳末たすけあい募金集計
平成25年1月31日現在(単位:円)

支 部	金 額
五 井	897,271
市 原	1,369,974
加 茂	173,400
国分寺台	434,650
街頭募金	83,153
そ の 他	71,520
合 計	3,029,968

平成24年度
歳末見舞金配布実績
平成25年1月31日現在(単位:円)

対 象 者	金 額
低 所 得 者 世 帯	3,239,000
在宅心身障害者(児)	190,000
交 通 遺 児	200,000
地域福祉支援事業(団体)	750,000
合 計	4,379,000

平成24年度 福祉バザー実績

支 部	会 場	売上金	寄付金等	合 計
姉 崎	姉崎公民館	523,710	25,343	549,053
辰 巳 台	辰巳公民館	302,755	18,627	321,382
市 津	市津公民館	408,430	238,006	646,436
三 和	三和社区センター	329,505	32,811	362,316
南 総	南総公民館	572,190	93,700	665,890
有 秋	有秋公民館	293,030	3,470	296,500
ちはら台	ちはらコミュニティセンター	57,239	2,694	59,933
合 計		2,486,859	414,651	2,901,510

共同募金会の歳末たすけあい運動への協力として実施している「福祉バザー」につ
きましては、皆様のあたたかいご理解とご協力により大きな成果をあげることが
できました。この収益金は、地域福祉の事業を強化推進するために活用すると共に、地
域福祉事業や歳末見舞金として生活が苦しい中を公的な援助を受けないでがんば
っている方々に配分いたしました。ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。
(なお、残額につきましてはふれあいいきいきサロン等の在宅福祉サービス事業
に活用させていただきます。)

ありがとう (敬称略)

*匿名(若宮9月～2月) 18,000円
*チャリティーマーケットinマルハン事務局 1,815円
*村木哲夫(アネッサのために) 囲碁3台

編集ボランティア (いちょうの会)

川上 英子 寺尾 泰文
向井 節 耕納 美保
石橋みな子

2013.3.5 | 第204号 |

社協だよりは、1月・5月発行(町会回覧)3月・9月発行(新聞折込)されます



発行：市原市社会福祉協議会

〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4 TEL 0436-24-0011 FAX 0436-22-3031

ホームページ：http://www.ichihara-shakyo.or.jp E-mail：info@ichihara-shakyo.or.jp

市原市社協の

市原市社協では、「第2期市原市地域福祉計画」及び「第
4次市原市地域福祉活動計画」の具現化を図り、住民主体・
住民参加による「新たな支え合い」を確立するため、小域・
中域福祉圏での基盤強化とし、現在の「社協支部」から、
より地域の実情に応じた独自性のある活動を展開する「地
区社協」への移行(平成25年4月)を進めております。

日中、子どもと
2人きり。どこ
か遊びに連れて
いきたいけど。

「地区社協」
ってなあに？

地域住民の日常生活を支える活動
主体として、地域でのニーズや住民の
日常生活上の困りごと等に地域の様々
な団体や関係機関と連携しながら解
決・改善に向けて取り組む組織です。

ちょっとした
困りごとは
どこに相談
すればいいの？

近所のおばあちゃん、
最近家に閉じこもり
気味みたい。

定年後、自分の
時間を何かに
活かしたいな。

「地区社協」の
事業は？

これまでの「社協支部」事業(ふ
れあいサロン、敬老会、福祉バザー
等)の他、住民の日常生活を支える視
点に立った活動の拡充を目指します。

「地区社協」に
関わる人は？

町会・自治会、民生委員等々…地域社会づくりのために
活動する様々な組織・団体の方々によって構成されます。
また、市社協の各エリア推進センター(事務局、アネッサ、
サンハート、市民活動センター)職員と連携しながら運営し
ていきます。

空き巣やひったくり、
訪問販売など
一人暮らしが不安。

「地区社協」の
財源は？

市民の皆様からいただいた社協会費や赤い羽根共
同募金配分金を主な財源として事業展開していきます。
これらは地域福祉推進の貴重な財源となるため、今
後とも皆様方にはご支援の程よろしくお願いします。

子ども達も独立
して、子育てのお手
伝いなら、協力でき
そう。

「新たな支え合い」づくりを目指して

地域のみなさんの ふれあいを目指して！ ～青葉台ふれあいサロン～

1月25日(金)10時。ふれあいサロンに着いて事務局の担当者にお話をうかがっていると、次々と人が集まって来ました。皆さん入口のところにある豆焼きコーヒー1杯100円や、お茶1杯50円を手にしながらかき揚げに座り、楽しげに話をしています。

このコーヒーやお茶の売り上げが、サロンの運営費に大きく貢献しているのだそう。集まる皆さんもそれをわかっての協力がうれしいと言います。

サロンの入口には、午後から映画「ガス燈」上映会のお知らせ看板が出ています。そして、元郵便局の建物を借りた施設は入口までのスロープにポップな飾り付けが目に入ります。これは、若い人が、ちょっと地味だから、と飾ってくれたのだそうです。他にも、

※外を歩いている人が、中の様子をさりげなく見られるように、柵をラティスに付け替え。(材料も工事も寄付)

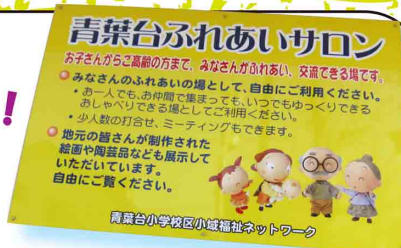
※絵画などの展示パネルを、ずらしつつ斜めに配置。作品展示机も壁に沿って拡張。これらは、入口ですぐにサロン内が一望できるようにとの提案を具体化したもの。変更してみると、その通り、見やすいし使いやすく評判もいいのだとか。

何でも良いと思ったことは試してみる柔軟な発想での場づくりを進めつつも、課題は利用者の一層の拡大。まだこのサロンの存在を知らない人や、知っていてもサロンに入ったことのない人に、どのようにしたら触れてもらえるか。企画や広報を工夫し、世代を超えたふれあいの場づくりへと繋げていくこと、それが今、一番の課題と話される。

20年以上も前から、この地域の先輩たちがさまざまな活動を途切れずに続けてこられた地盤があり、その延長線上にサロンの活動もあることを大いに感謝し、同じ地域に住みお互いが、お互いの事を知って笑顔が見られる、そういう関係づくりの柱の一つとなっていければ、と熱く話された。



「お茶利用代金」で運営しています。皆様の「協力」をお願い致します。



開催日	イベント名	時間
7日(木)	“きまろ”で笑おう! 綾小路きみまろ エキサイトライブDVD鑑賞	14:00～14:30
12日(火)	みんなで歌おう! =懐かしい昭和の歌・うた・唄=	14:00～15:30
13日(水)	健康体操	14:00～15:00
14日(木)	①講座＝介護の基礎 ②介護の相談コーナー	13:30～14:30
16日(土)	こども工作教室 “びよんびよんがえる”づくり アニメ上映会	13:00～14:00
22日(金)	＝くまののびちゃん＝ 名作映画上映会 ＝おくりびと＝	14:00～14:25
30日(土)	春休み工作教室 万華鏡を作ろう!	13:30～15:40



安心訪問員の皆さん
(右から)小出会長・米山さん・多賀さん

地域の中で、さみしい思いをしている人は潜在的に大勢いる。ただ、本人から発信されないこと、またお互いに、顔見しりになるそれ自体が難しく安心訪問員との接点をどうもつかが課題。見守り活動は、日頃の付き合ひの中から目の届く関係の中で、続けられることが一番だし、活動も、「雨戸が開いていれば元気な証拠」と、毎日、遠くからだけでも、あつても意識した見守りであれば意味があるのではないかと話もあつた。

見守り方、見守られ方も、一律である必要はなく、活動が義務にならないために、日頃の付き合ひの流れの中で続けたいと皆さん考えている。

人とのつながりは、顔見知りになる きっかけからはじまる ～安心生活見守り支援事業～

もともとあるつながりを大切に、隣近所による、見守る人も、見守られる人も、負担のない、無理のない「内田流見守り活動」を行っていきたくと話す小出会長。

そこで内田流見守り活動をしている安心訪問員の方たちにお話を聞いてみた。

愛犬の散歩中での挨拶がきっかけで、顔見知りになり、交流を深めていたが、独居になられたことにより、活動がはじまった。見守り方は、今までと変わらず、散歩途中に、外から声を掛ける程度。しかし、「安心訪問員」として活動するようになって、意識が変わったと話す。「どうしているかな?困っていることはないかな?」と思ひ浮かぶことが増え、まずは、自分が元気でなくてはならないと感じている。そして自分自身も人と関わることによって豊かになると感じると話す。散歩中のあいさつ、ちょっとした立ち話、笑顔で自分から発信すれば、そこから新たなつながりが生まれると思うと話す。



辰巳台支部
たすけあい
「辰巳ねこの手」

辰巳という地域性を、活かして—— 共に支えあう、共生ケア「ねこの手」は、みんなが主役!! ～有償サービス たすけあい「辰巳ねこの手」～

「ねこの手」は、気がねなく、頼んだり頼まれたりできる、定額のサービスを提供する、地域住民が支えあう集まり(会員制)です。

辰巳は、京葉工業地帯の社宅団地として、全国各地からの人々が移り住み、作られた住宅地域。その特性を活かし、新たな取り組みを次々と立ち上げてきた市原市社会福祉協議会辰巳台支部が、地域の困りごと調査をしてニーズを把握したうえで視察や研修を1年行い、独自にたすけあい「辰巳ねこの手」を立ち上げたのが、平成17年11月。翌18年1月より活動を始め、現在8年目に入り、賛助会員72名・協力会員31名・利用会員84名が共に支え合い、会を運営している。その活動内容は、生活支援を中心に作業依頼を受けているとの事。多いのは、部屋掃除・調理や、病院への付き添い、草取りなど。

「ねこの手」の運営は、「利用料の1/8」と「年会費」および「入会金」で賄われていますが、立ち上げた当初からの賛助会員さんが、今もお賛助会員として運営を支え続けてくれることが大変ありがたく、心強い存在であるのだそうです。それにつけても、辰巳彩風苑の中の事務所「辰巳ふれあいセンター」という活動拠点があることは、人と人を結ぶ何より大事な核となっており、施設にも感謝です、と話される。

利用会員の声



「ねこの手」のお世話になって今年、掃除機を持ってこたえ、たまたま会の発足を知らずに入会しました。以来、庭木の剪定、家の掃除、バリコンを使つての文章作成など様々なお願いをしています。コーディネーターから協力会員へ連絡をこい、都合のつく方が早速向いて下さり大変助かっております。老人や一人暮らしのものは有難いことで、皆様さくさくお優しく、深入りしない、程よい関係でお付き合いさせていただいております。益々人の助けが必要になってくる今、この地区で平和に暮らしていける幸せを感じております。

協力会員の声

発足当時から協力会員として入会し、7年目にいります。コーディネーターさんからの連絡を受け、今まで180回(400時間)作業してきました。主な作業は、月2回の配食サービス、運転手、草取り、庭木の伐採です。作業は早くきつとやるように心がけています。7年の間には仲間も変わりましたが、「ねこの手」が地域に根を張り、多くの人に役立つよう頑張ります。

病院の付添いをしております。転倒事故の無いように細心の注意を払うことが一番重要ですが、待ち時間や通院途中、笑顔で会話し、辛い病院通いが少しでも和らぐように心がけています。また、よい気分転換を感じていただければ幸いです。

地域の犯罪防止、 子どもの安全のため ～観音町地域 防犯パトロール隊～

防犯パトロールの活動は、平成14年当時、犯罪が多発していた時期に、観音町町会 安藤右男町会長が「自分たちの町は自分たちで守ろう」と、町会の方々へ呼びかけをし、多くの方々の賛同を得て実施されてきた。

町会から始まった取組みが、現在では町会の方、民生委員、石塚小の先生等、石塚小ネットワークへ引き継がれ多くのメンバーへと広がり、月1回夜間パトロールを実施している。

7年前からパトロール隊の活動をしている石井さんは、定年退職後、石塚小で募集された登下校時の児童見守り活動をきっかけに、地域の防犯活動に関心を強め、不審者や、児童のつけまわし、自転車の盗難、ひったくりを防止していきたいとの思いで、活動が続いている。

安藤岩男町会長は、「誰もが自分の住む町は安心・安全でありたいと願っているはず。その思いを町会として受け止め、その中心となり、行動に移すことが自分に課せられた町会長としての役割と思い、皆に呼びかけた。これだけ賛同してもらい、活動も活発になったのは、皆さんのおかげ。」と、感謝。他にも、石塚小ネットワークでは、地域の防災マップを作成し、地域の災害に備えた活動も進めている。

